広報かるまい
Karumai 12
町の魅力と町民の輝く姿を届ける情報誌
Dec. 2020
vol.741

ダブル縄跳びは難しい～

表紙　児童クラブ（11月20日撮影）

児童クラブは、保護者が迎えに来るまで授業が終わった子どもたちが過ごす場所。そこには毎日、子どもたちの元気な笑顔があふれています。（関連10ページ）

特集―Special Feature―

子育て応援（エール）

軽米町の子どもが幸せに育つために――

近年、核家族化が進み、子育てをするお母さん、お父さんへの負担は大きくなっています。仕事や育児、家事などに翻弄（ほんろう）されて悩んではいませんか。無理はしていませんか。今月は「子育て特集」。子育てを頑張る人を応援するため、町のサポート体制などを紹介していきます。

新しい命をお腹に宿して10カ月。大変だったつわりや陣痛（じんつう）を乗り越えて、やっと生まれてきてくれた愛しい我が子。命への喜びや感謝を胸に、ここからお母さんの「子育て生活」が始まります。

しかし、それは想像以上に大変なことばかりです。2時間おきに授乳をし、1日に何度もおむつを替え、夜泣きをすれば抱っこしてあやし続ける。そして、それが毎日繰り返され、心身を休める時間もありません。

子どもを育てるということは人生で最もやりがいのある仕事の一つですが、それだけ大きな苦労が伴います。

時代の変化

現代に入り、そういった親の子育てに対する苦労は、より大きくなっています。

かつて、子どもは親だけではなく地域で育てるという風潮がありました。子どもは地域の人から愛され、親の代わりに世話をしてくれることもあり、それによって子育てに対する親の負担は軽減されていたと考えられます。世帯間同士の距離も近く、常に悩みを共有できる他の子育て世帯とのつながりもありました。

しかし、戦後、核家族化や共働き世帯の増加、少子化などにより、地域とのつながりが薄くなり、子育ての孤立化が進行。親は子育ての負担を全て背負うことになりました。さらに、今年のコロナ禍（か）でその流れはより加速したと言えます。

我が子に幸せに育ってほしい――。どんな親でも子どもの幸せや健康を願います。しかし、子どもと関わる親の負担が増大し、ストレスが増えれば子どもの成長にも少なからず影響を及ぼします。

次ページでは、その影響について詳しく取り上げます。

なぜ子育ては大切なのか

幼少期の愛着形成が人生の土台に

「三つ子の魂百まで」という言葉があるように、幼少期の環境は人生に大きな影響を与えます。親がストレスをため込むことで、子どもの欲求を受け止めることができないと実際どんな影響が出るのでしょうか。子どもの成長に詳しい未来の風せいわ病院の智田先生に伺いました。

愛着が子どもの健やかな成長を促す

人が成長するうえで、幼少期の環境はとても大切です。子どもは、養育者（主に母親）と肌と肌との温もりの交流を通して安心感を獲得し、その安心感が人生を生きる上での土台になるからです（愛着の形成）。

子どもの中に自我が芽生えると、主たる養育者が自分以外の存在として初めて認識されます。やがて、それ以外の家族などの第三者を認識して自分の世界を広げていくのですが、このとき、第三者は未知の存在。何をするか分かりませんから、子どもにとっては恐怖の対象です。

恐怖に出会ったとき、子どもは安心感の源である養育者の下に必ず戻ってきます。くっついて温もりを感じ、エネルギーを充電することで、また外の世界に飛び出していけるからです。それを繰り返していくうちに、子どもの心の中にだんだん養育者のイメージや安心感が内在化され、養育者がいなくても行動できるようになっていきます。

つまり、養育者との豊かな愛着の形成によって私たちは、自分で自分を励ましたり、自分で自分を癒したりできるようになっていくのです。

増加する子どものネット・ゲーム依存

私は、講演会などで「子どものインターネット・ゲーム依存」についてお話させていただいています。

依存とは、ある物事をやめたくてもやめられない状態のこと。依存が進むと、心の中のブレーキがきかなくなり、体調不良や精神的な乱れなど日常生活に悪影響が出てきます。

今、ネットやゲームに依存する子どもが恐ろしいほど急速に増加しています。県内のあらゆる地域で、ゲームなどの依存で落ち着きがなくなった子どもが原因となって学級崩壊している小学校があります。

ゲーム会社は売れるゲームを作ることを目指します。売れるゲームとは、結局のところ、時間も忘れてハマってしまうような依存性の高いゲームのことです。

ある程度の成長した大人がゲームをすることにはあまり問題もないと思いますが、子どもがやる分には大きな危険性が伴います。

人間の頭の中には理性（前頭前野）と本能（大脳辺縁系）をつかさどる場所があり、子どもの脳はそのバランスがとても不安定です。25歳で完成するといわれる前頭前野がまだ発達過程にあるので、あらゆる刺激に対して本能的に行動し、依存してしまう危険性があります。そういった危険性を私たちは古来から知っていたので、子どもの脳を守るために、20歳以下のタバコ・お酒はやめましょうと法律を作ってきました。

今のところ、まだこういった法律が出来ていないネットやゲームに関して、子どもはやりたい放題できる恐ろしい現状にあります。

愛着不足で育った場合依存しやすい

しかし、例えばお酒を飲む人が全員アルコール中毒になるわけではないように、ゲームをやる子ども全員が依存症になるわけではありません。

その違いは、小さい頃の愛着形成に関係してくると考えられています。ネズミの楽園（※）という実験などから、人間は自由を制限され、精神的に孤立すると依存しやすいと言われています。

愛着形成が上手くいかなかった人は、本来与えられるべき愛情を感じられなかったので、常に何か満たされない感覚を無意識に抱えます。その満たされない感覚をゲームやネット、大人になればアルコールや薬物など、刺激を感じられるもので埋めようとするのです。しかし、満たされることはないので、どんどん依存が進み、日常生活への悪影響などの弊害の方が大きくなっていきます。

つまり、依存する人はその行為が楽しいからやっているのではなく、心が寂しく苦しいから、その苦痛を緩和するためにやっているのです。

大人も含めた居場所づくりが大切

依存症というのはあくまで一例で、愛着不足は精神障がいの発症などさまざまな影響を及ぼします。

今の時代、スマホがあれば何でもできます。親も忙しい中で、YouTube（ユーチューブ）で子どもをあやしたりしていますが、スマホに頼りすぎて愛着不足になる可能性は少なからずあるでしょう。

人はありのままの自分を受容できること、そして人とのつながりによって依存から回復していきます。子どもが健やかに育つためには、大人も含めた誰しもが、自分の居場所が軽米町の中にあるという地域社会づくりが大切です。

未来の風せいわ病院
智田　文徳 理事長

盛岡市にある精神科病院「未来の風せいわ病院」で理事長を務める。その傍ら、県内各地で自殺防止のための講演などを開いている。軽米町でも平成30年度の学校保健研究大会で、子どもの依存症について講話した。

※ネズミの楽園
薬物依存に関するネズミを使った実験。狭苦しくネズミが一匹しかいない孤独なケージと、広大でネズミ同士が接触できる自由な囲いを用意。両方のグループに依存性のある水を仕込むと、孤独な環境下にあるネズミの方が何十倍も多くの水を飲むことが分かった。このことから、依存症は依存物自体よりも環境に起因するのではないかと考えられるようになった。

スマホやインターネットと発達の関係
ネットやスマホが一般に普及してからまだ日が浅く、それらが子どもの発達にどう影響するのか詳しいことはまだ分かっていません。それでも、大人でも夢中になってしまうような依存性の高いものを幼少期から見ていたらどうなるか、怖い側面の方が大きいでしょう。智田先生は、利用するときは１日30分以内にするなど家庭でルールを作ることが大切だと話します。

世代別子育てサポート

切れ目のない支援を目指して

町は、親の妊娠期から子どもが成長するまで、切れ目のない支援を目指し取り組んでいます。少しでも気になる事業などありましたら担当までお問い合わせください。

→めごかる　☎46―4111

↑健診の際などに保健師が一人一人の親と話をして、親子の様子を確認しています

あなたの子育てに寄り添います

子育て世代包括支援センター めごかる

軽米町では、子育てをする方が一人で悩みや不安を抱え込んでしまうことがないよう、親子に寄り添うさまざまなサポートをしています。

町は昨年10月から、子育てに携わる全ての方をさまざまな側面からサポートするため、子育て世代包括支援センター「めごかる」を健康福祉課（健康ふれあいセンター）に開設しています。

今の時代、子育てについて分からないことがあっても、周りに相談できる人がいなくて一人で抱え込んでしまったり、スマホで調べた情報に振り回されてしまったりすることがあると思います。

めごかるでは、子どもを出産する前の妊娠期から子どもが成長する学童期まで、長い期間にわたって保健師による相談対応や、訪問支援、健診での親子の健康チェック、子育てに関する勉強会の開催など、さまざまなサポートをしています。

さらに町は「子育て支援日本一の町」を目指し、医療費や給食費などの助成を通し、経済的にも子どもを育てやすい環境を目指した取り組みを進めています。

育児に対する不安や悩みがあればお気軽にめごかるまでご相談ください。

あなたの子育てを応援しています！

健康福祉課
古舘　里美（さとみ）保健師

めごかるは、軽米で育つ子どもたちが、家族だけでなく、地域の人からも「めごいな」と声をかけてもらいながら、たくさんの人々の愛に包まれて育っていけるように、また、育てている家族も手と手を取り合いながら幸せいっぱいの子育てができるように応援する場所です。皆さんが、子どもと向き合いながら「めごいな」とほほ笑むような場面がたくさんあるといいなと思っています。

めごかるでは、相談や健診だけでなく、子育てに関する教室も開催しています。めごかるを通じあなたらしく子どもを育て、子どもも自分らしく育っていけるよう、さまざまな方法を一緒に考えたり、皆さんの子育てに取り入れてもらえるような教室を企画し、軽米での子育てが楽しくなるよう応援しています。分からないことなどありましたら、町の保健師にお気軽に声をかけてください。

出産期 <<<< 妊娠期

こんにちは赤ちゃん訪問

子どもを産んだお母さんのご自宅に、町の保健師が訪問します。お話を伺い、体重測定などをしながら赤ちゃんの成長を確認します。保健師による訪問は、妊娠時から行い、お母さんの健康状態なども一緒に確認します。

母子健康手帳の交付

母子健康手帳を交付する際に保健師が妊婦さん一人一人とお話して、出産や子育ての悩みなどを伺っています。お話した内容などを基に、妊娠から出産、子育てまでの妊婦プランを作成しています。

すこやかベビー祝金

第２子以降のお子さんの出産に商品券や現金をお贈りしています。
第２子→商品券３万円分
第３子→商品券５万円分
第４子以降→商品券５万円分と現金５万円

出産一時金

健康保険に加入している方に、子ども一人につき42万円を支給。

妊産婦健診費用の助成

妊婦健診16回分と産後２週間～１カ月に行う産婦健康診査費用を助成。県内か八戸市内の医療機関を利用した場合が対象。

交通費の助成

妊婦健康診査や産婦健康診査を受診した時の通院に要した交通費の一部を１㌔あたり37円助成。

特定不妊治療費の助成

特定不妊治療を行っているご夫婦の経済的負担を減らすため、治療費の一部を助成。

こんにちは赤ちゃん訪問

鶴飼　千春（ちはる）さん（緑ヶ丘）

INTERVIEW

気持ちが楽になった

子どもを出産した時に、保健師さんが家まで来てくれました。私もそのときは３人目の出産。いろいろと分かっているつもりでしたが、産んだばかりでメンタル的に不安定になることがあり、訪問してくれて気持ちがすごく楽になりました。保健師さんという家族以外の第三者が入ってくれるというのがすごくありがたいなと思いました。

子育て期 <<<<<< 出産期

ピヨピヨ広場

青少年ホームを会場に就学前のお子さんと保護者が気軽に集まり交流する場。ストレッチボールを使った体操などで親子で体を動かしたり、親同士がおしゃべりをしたりして楽しんでいます。

■開設時間　月・水・金曜日　10時～ 15時

子育て勉強会

子育てに携わる親などを対象に、勉強会を開催しています。本年度は、親子の温かい関係を築くための子育てスキルとして知られる「ペアレントトレーニング」について３回にわたって開催し、延べ30人の方に参加していただきました。

保育園

仕事などで面倒を見ることができない保護者に代わり､子どもを預かります。できるだけ保護者の希望に沿った保育先を選びます。来年度の新入園児募集については31ページに掲載。

うまっこ教室

３歳頃から就学前の親子が対象。鉄棒やマット遊び、紙遊びなどを親子で楽しみます。保健師や専門の相談員による個別相談も行い、子どもの豊かな発育を支援しています。

予防接種費用の助成

生後６カ月から高校３年生までのインフルエンザの予防接種費用を１回あたり2,500円助成。その他にも、おたふく予防接種を１回あたり4,000円助成しています。

乳児健診

赤ちゃんの成長に合わせて健康診査を実施しています。乳児健診では、赤ちゃんの身長や体重、胸囲などを測定し、成長曲線と照らし合わせながら、成長度合いを確認します。また、保健師による問診で、日ごろのお子さんの様子などについて確認し、相談などに応じています。４カ月以降の健診では、栄養士による離乳食の試食と相談、１歳児以降の健診では、歯科医師による歯科検診・歯科衛生士によるフッ素塗布を実施しています。

ブックスタート

７カ月健診の時に、絵本を楽しむ体験と読んだ本をプレゼントする活動。平成30年度からはブックスタートプラスとして、２歳児健診の時にも絵本をプレゼントしています。

ベビーマッサージ教室

マッサージを通して、親子のふれあいの大切さを学ぶ教室。現在は、新型コロナウイルスの影響により中止していますが、感染が収まり次第、再開する予定です。

パカパカ教室

１歳児から３歳児が対象。赤ちゃんが楽しめるような親子遊びをして、子どもの成長を促し親子の絆を育みます。

■開催日　主に第４金曜日　10時～

■場所　健康ふれあいセンター

INTERVIEW

大崎 悦子 さん(向川原)
ひなた ちゃん(1歳)

ピヨピヨ広場

優しく迎えてくれる

初めての子育てで今は毎日時間に追われているという日々。大変なことも多いですが、ピヨピヨ広場に行くといつも優しく迎えてくださり、安心できます。子ども同士の刺激もあるみたいでとても助かっています。

40代女性A さん

子育て勉強会

ほめる子育てが大切

ペアレントトレーニングを学ぶ勉強会に参加しました。怒ってばかりの子育てよりも、ほめる子育ての方が自分の疲れ方も違うし、何より子どもの気持ちが穏やかになることを学びました。

堀田沢 悠佳 さん(沢里)
莉佳 ちゃん(9カ月)

ブックスタート

読み聞かせのきっかけに

11月の乳児健診で、ブックスタートを行っていただきました。絵本の読み聞かせは家ではやっていなかったですが大切だと思うので、これをきっかけに家でも本を読んであげたいです。

30代女性M さん

パカパカ教室

遊びのヒントをもらえた

沢山遊べて楽しい時間を過ごせました。家の中ではできないような遊びをして、子どももとても楽しそうでよかったです。遊びのヒントをもらえたように感じるので、家でも工夫して子どもと過ごしたいです。

ボランティアの活動

地域で親子を支える

地域のボランティアが子どもたちの安全確保や親をサポートするための活動をしています。３つの団体に話を聞きました。

子育てボランティア
チャイルド軽米

お母さんたちの役に立っていればありがたい

私が町の民生委員児童委員協議会の会長をやっていた10年以上前、二戸市で開催された子育てに関する講習会に参加しました。その時参加したメンバーが学んだことを町のために生かしたいと集まり、「チャイルド軽米」は発足しました。

現在のメンバーは７人。乳児健診の時にお手伝いをしに行き、話し相手になってみたり、お母さんがトイレにいっている間、子どもを預かって子守りをしてあげたりしています。お手伝いに行くと、居るだけで子どもが自然と近寄ってくるので楽しく過ごせますし、少しでもお母さんたちの役に立っていればありがたいです。私ももういい年ですが、歩けるうちはこれからも協力していきたいと思います。

田中辰男さん（笹渡）

見守りボランティア
スクールガード

子どもたちから元気をもらっている

スクールガードは、児童生徒の登校時間に町内３小学校それぞれの通学路で子どもたちの安全を見守る活動をしています。平成18年度から活動が始まり、全体で30人ほどのボランティアで構成されています。

朝は通勤中の人も多く、ついスピードを出してしまう車もある現状ですが、まずは自分の安全確認をしながら、子どもたちを守ることを心がけています。

毎朝、子どもたちの声を聞くと元気になります。子どもたちと会えるのが日々の楽しみです。活動し始めた頃と比べてあいさつをする子が増え、地域が明るくなったように感じます。以前、小学６年生の子から感謝状をもらったことがあり、それはとてもうれしかったですね。

門前克男さん（門前）

健診時や小学校で活動
読み聞かせボランティア

親子のふれあいの時間を大切にしてほしい

平成13年から乳児健診や２歳児健診の時に、親子に絵本の読み聞かせを行っています。本を通して親子のふれあいの時間を大切にしてほしいと思って活動してきました。文字のない本や中身が飛び出したりする小さい子どもでも興味を持ってくれそうな本を選んで持っていきます。読むというよりも最初は本と遊ぶような感じですが、本を読んでもらうことで子どもは落ち着き、人の話を聞けるようになる効果があると思っています。

健診時の読み聞かせは３人で行っていますが、小学校でも定期的に読み聞かせを行っていて、そちらは６人で活動しています。お母さん方に「本買いましたよ」と言われるとすごくうれしいですし、やっていてよかったと感じています。

右　竹澤ユヲ子さん（仲町）
左　佐藤勝子さん（本町）

児童クラブ

学校の授業終了後、子どもたちが安全に勉強や遊びを楽しむ場として開設。平日だけでなく学校休業日も利用でき、各小学校からの送迎も行っています。

■**場所**　農村勤労福祉センター（町民体育館となり）
■**時間**　平日…放課後～18時30分
　　学校休業日…７時30分～18時30分
■**休所日**　日曜、祝日、年末年始
■**対象**　日中に保護者が不在になる小学生
■**保育料**　月額5,000円（軽減制度あり）

放課後こども教室

低学年の子どもたちが下校時間まで安全に過ごす場所として開設。地域住民との交流の場にもなっていて、晴山小学校では今年、郷土芸能を学ぶ機会も設けられました。（関連21ページ）

■**場所**　各小学校　　■**時間**　平日14時30分～16時30分
■**対象**　小学１年生～３年生　　■**費用**　無料

医療費が無料

子どもが生まれてから高校を卒業するまでの医療費が無料となる取り組みをしています。他にもさまざまな方を対象とした助成があります。
〇妊娠５カ月目からの妊婦　〇ひとり親家庭の親子　〇重度心身障がい者

給食費の助成

小・中・高ともに１食あたり90円の助成。（町は現在、給食費の完全無料化実現に向けて取り組んでいます）

児童手当

中学３年生までの子どもを扶養している保護者に月額最大15,000円を支給。

児童扶養手当

ひとり親家庭等を支援するため支給。第１子で月額最大43,160円。

特別児童扶養手当

障がいのある20歳未満の子どもを扶養する保護者に支給。障がい者等級１級で月額52,500円。

児童クラブ

送迎サービスが助かった

INTERVIEW

子どもがまだ小さかった頃、児童クラブを利用させていただいていました。平日だけでなく、夏休みなどにも利用できるところが良かったです。子どもの様子を見ていると、ただ遊んで帰ってくるのかなと思っていたら、わりと宿題も終わらせて帰ってくることが多く、管理人さんがバランス良く面倒を見てくださっているなと感じていました。私は晴山地区なので、子どもが児童クラブまで行く手段がないこともあり、町でタクシーを準備してくれるなど、送迎サービスがあって助かりました。

上村司さん（山内駒木）

親子の笑顔があふれる町へ――

最初から親として生まれてくる人はいません。人は子どもが生まれて初めて「親」になります。だから最初は誰だって子育て初心者。分からないことだらけで当たり前です。

そして、今は両親ともに働く人が多い時代。仕事をして家事をして、子育てもする…、ストレスがたまって子どもに当たりたくなることもあって当然ではないでしょうか。

幼少期の環境が子どもの人生に大きな影響を与えると特集前半で述べました。こう聞くと、自分の子育てを責めたり、もっと子どもを良く育てようとしすぎて自分を追い詰めてしまったりする方もいるかもしれません。

でも、完璧な親なんていません。頑張りすぎる必要はないのです。

だから、まずはお母さんが自分を大事にしましょう。周りの人に甘えたり、悩んでいることがあったら気軽に相談してみましょう。そして、悩みを相談された人は、その悩みを否定せず、そのまま受け止めてあげることが大切です。

お母さんに心のゆとりができれば、子どもの欲求を素直に受け止めることができます。自分の気持ちを受け止めてもらった子は、そのままの自分を愛し、健やかに成長していきます。

子どもが幸せに育つためには、地域の力が必要です。みんなで支え合い、助け合うことで、親子の笑顔があふれる住みよい町にしていきましょう。

特集　子育て応援（エール）（完）

アメリカインディアンの教え

（アメリカの薬物乱用防止テキストから）

子どもたちはこうして生きかたを学びます。
批判ばかり受けて育った子は、 非難ばかりします。
敵意にみちたなかで育った子は、だれとでも戦います。
ひやかしを受けて育った子は、はにかみ屋になります。
ねたみを受けて育った子は、いつも悪いことをしているような気持ちになります。
心が寛大な人のなかで育った子は、がまん強くなります。
はげましを受けて育った子は、自信を持ちます。
ほめられるなかで育った子は、いつも感謝することを知ります。
公明正大ななかで育った子は、正義心を持ちます。
思いやりのあるなかで育った子は、信仰心を持ちます。
人に認めてもらえるなかで育った子は、自分を大事にします。
仲間の愛の中で育った子は、世界に愛をみつけます。
【作/ドロシー・ロー・ノルト　訳/吉永宏】

参考文献
「薬物乱用と健康　新訂版」 原田幸男、小沼杏坪（一橋出版）
「アメリカインディアンの教え」 加藤諦三（ニッポン放送出版）

若者が考える町の未来図

町は、まちづくりの指針として10年ごとに定めている「総合発展計画」を本年度中に策定します。新しい計画の策定に伴い、若者の意見を反映させるため「軽米町若者会議」を開催しました。若者が描く町の未来とは――。会議の概要をお伝えします。

総合発展計画は町づくりの最上位計画

これからの軽米町をどのように作っていくか、その方向性を描いたまちづくりの指針となるものが「総合発展計画」です。この総合発展計画は、町のあらゆる計画の最上位に位置するもので、10年後の町の将来像を描きながら策定されます。

町は、これまで多くの人の意見を町政に取り入れようと百人委員会や町民意識調査などを実施してきましたが、今回の計画では、これからの町の未来を担う若者のニーズを把握し計画に反映させる必要があると考え、「軽米町若者会議」を開催することにしました。

次世代が望むものを探る若者会議

若者会議は、若者の感性や発想をまちづくりに反映されるために設置する会議で、概ね18歳から45歳までの町民や町出身者で構成されます。

本年度の第1回会議は10月29日、第2回会議が11月18日にそれぞれ役場庁舎で開催されました。今回の会議には、15人の委員と役場の若手職員13人が参加。1回目は「子育て」「産業」「移住・定住・交流」、2回目は「環境」「福祉・生涯学習」「生活基盤」の部会に分かれ、町が計画を進める総合発展計画の素案について議論を交わしました。

本年度の若者会議では、総合発展計画について意見を出していただきましたが、今後もテーマを変えながら継続して開催していく予定です。

※委員から出された意見の一部は左欄で紹介しています。

↑第１回若者会議子育て部会では、活発な意見交換が行われました

今後は地域懇談会などで計画の充実目指す

現在、町は若者会議で出された意見を参考にしながら計画の策定に向け準備を進めています。今後は、地域懇談会やパブリックコメントを実施し、幅広い世代の意見を伺っていきます。あなたは、軽米の未来をどのようなものにしたいですか。ぜひ、皆さんの意見をお聞かせください。

若者会議で出された意見（一部）

■子育て

- 土日に親子で過ごせる場所がない。広い公園、遊具のある公園が欲しい。ハートフルの近くにあると色々な世代が遊べる場所になると思う。
- 核家族が多くなっているので、ちょっとした預かりサポート体制があれば良い。病児保育の預かり体制も欲しい。
- 軽米町は子育て支援が充実しているので、町外にもっと子育て情報を発信してPRすべき。

■教育

- 郷土芸能を学校でやっているのが良い。祭りや伝統芸能に触れる機会を設けることで、将来軽米町に戻ってくる可能性も出てくる。
- 高校に進学する際、レベルの高い高校で部活を続けたいと考えた時、どうしても町外の高校へ進学してしまう。軽米高校にレベルの高い指導者がいれば続けられる。

■農林業

- 木炭業者は原料となる木材を自ら伐採することは少なく、木材供給は業者頼みになることが多い。このため林業の経営が安定してくれないと木炭業の継続も困難になる。
- 町外から新規で就農したくなる仕組みや魅力づくりが必要であり、循環型農業はＳＤＧｓの普及に伴って魅力的なものになってきている。

■商工業

- ６次産業化としてチーズづくりに取り組んでいる。軽米の人たちが地元の農家がどのようなことをしているのか知ってもらいたいので、学校給食や町内の商店でも扱ってもらい、地域の魅力に関心を持ってもらいたい。
- 生産者と消費者をつなげるような交流イベントがあれば良い。

■観光・移住

- 町に観光施設はいくつがあるが、通年型ではないことが課題である。
- さまざまな交流の機会を作ってから移住につなげていくべき。
- 移住を決断することは相当な覚悟が必要。町の生活に関する具体的なイメージを提供出来れば移住を検討する重要な情報となるのでは。

参加者募集

地域懇談会

■日程（全日18:30 ～）

12月23日（水）　農村環境改善センター

12月24日（木）　小軽米生活改善センター

12月25日（金）　晴山公民館

※新型コロナウイルスの流行状況によっては、中止させていただく場合があります。

第１期が終了

歩いて貯める！かるまい健康ポイント

健康増進につながるウォーキングと、運動教室などへの参加、尿中塩分調査の取り組みにポイントを付与するこの事業。1,000ポイントごとに１口応募でき、抽選で1000円のかるまい商品券が当たります（100名分）。

さらに、応募者の中から抽選で５名に健康グッズ（血圧計・体組成計・スマートウォッチ）をプレゼントします。

第１期の参加申込みは58人、応募者は50人、全体で120口の応募がありました。

健康グッズの抽選は、11月16日に町長室にて山本賢一町長が行いました。

抽選結果

▶スマートウォッチ　……　50代女性
▶血圧計　……　60代女性、60代男性
▶体組成計　……　60代女性、70代男性

計５名　　おめでとうございます！

参加者募集

第２期（11月～１月）も始まっています。
参加を希望する人は、健康福祉課・健康づくり担当までお問い合わせください。

■申込はこちら

健康福祉課・健康づくり担当（健康ふれあいセンター内）　☎46-4111

11月、八戸にOPEN
エステサロン にじいろ
完全予約制。感染症対策を徹底しています。
◎施術MENU
耳つぼダイエット・腸もみ・よもぎ蒸し・ヘッドカッサ・カイロプラクティック・ロミロミ・泡エステ・ヘッドスパ
〒031-0073　八戸市売市３丁目7-25　ユートピア大西A201（売市ローソン向かい）
■営業時間/10:00～20:00（不定休）　■予約電話/090-7792-4458（代表者：田中郁子）

ゼンリン住宅地図が新しくなります！

１月に最新版が発売になります。
ただいまご予約特価にて予約受付中！
ご予約特価　￥９，９００（込）
特価期間12月末まで　通常価格　￥11,000（込）
ご予約・お問い合わせは下記まで。
2021年用　手帳・家計簿・暦　販売中
大町　松橋商店　TEL46-2408

自衛官候補生を募集

任期制自衛官として任官する前に自衛官として必要な基礎的教育訓練をするコースです。教育を経た後に任期の定められた任期制自衛官に採用されます。
■応募資格　18歳以上33歳未満の男女
■問い合わせ　自衛隊岩手地方協力本部二戸地域事務所　☎23-2529

広告募集

問い合わせ　kouhou@town.karumai.iwate.jp

１号広告（本枠）
○白黒　4,000円
○カラー　6,000円

２号広告（横幅が本枠の倍）
○白黒　8,000円
○カラー　12,000円

広告スペース

HOT NEWS

町と日本郵便が包括協定

住民サービスの向上目指す

町は12月２日、日本郵便（株）と包括連携に関する協定を締結しました。この協定は、郵便局と町それぞれが有する人的・物的資源を有効活用し、地域経済活性化や住民サービスの向上などを図ることが目的です。

町と日本郵便（株）は既に平成29年度、災害発生時の対応や道路損傷、不法投棄などの情報提供、高齢者の見守り活動などを協働で進めていくことを定めた包括協定を締結済み。今回の協定はこれまでの取り組みに加え、地域経済の活性化や子どもの育成に関する事項などを追加し、連携分野を広げた形での協定を再締結したものです。

山本賢一町長は「この協定を契機に、さらに町民の安心・安全な暮らしに向けた環境整備や地域活力の向上につなげていくことができるよう、双方が良い関係を保ちながら連携協力していきたい」と意欲を見せていました。

左から
一井政利二戸郵便局長、
山本賢一町長、
木戸口春彦軽米郵便局長

花火大会が華を添える

イルミネーション点灯中

町の冬の風物詩となった、かるまい冬灯りイルミネーションが11月29日から向川原地区の防災センター周辺で点灯しています。今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から点灯式が中止となりました。

その代わりに、点灯を盛り上げようと町商工会青年部が花火大会を実施。およそ30分にわたり打ち上げられた大輪の花火が点灯に華を添えました。

このイルミネーションは来年１月末まで見ることができます。

イルミネーションや花火を見ようと多くの来場者が訪れました→

町民文化祭展示部門

思いの詰まった作品並ぶ

第41回町民文化祭（町文化協会・町教育委員会主催）の展示部門が10月31日から11月3日まで中央公民館で開催され、町文化協会や一般公募による作品が種類豊富に展示されました。

例年、町民文化祭は展示部門と芸能・音楽団体などの発表が行われるステージ部門が開催されていましたが、今年は新型コロナウイルスの影響でステージ部門が中止に。展示部門も、例年より作品数が減るなどの影響はありましたが、手指消毒や検温などの対策が行われる中、無事開かれました。来場者は「毎年楽しみにしているけど、今年はコロナで開催されないのかなと心配していた。写真部門が印象深かったです」と話していました。

10月25日から11月3日までは町立図書館で「幼児絵本感想画展・小中高書写絵画作品展」が併せて開催され、児童生徒による作品が来場者の目をひきつけていました。

↓刈り取りに力が入ります

町の特産を肌で学ぶ
エゴマの刈り取り・脱穀

軽米小学校（川村憲弘校長、児童199人）の５年生36人は総合的な学習の時間で町の特産エゴマの１年間を通した体験学習を行っています。10月20日は、春に植えたエゴマの刈り取りを行いました。丈夫に育ったエゴマには硬さがあり、子どもたちは鎌で刈り取るのに苦労していましたが、友だち同士で助け合いながら作業を進めていました。11月10日は脱穀を体験。まどりと呼ばれる道具を使って、エゴマの実をふるい落としました。今後は、来年の修学旅行で育てたエゴマ油を販売する体験が予定されています。

左）脱穀でまどりの使い方を教える講師の中里多喜男さん
右）体験する児童

↓歴代のポスターに見入る来場者

ポスターでよみがえる思い出
軽米秋まつりポスター展

軽米秋まつりポスター展が11月７日と８日に中央公民館で開かれました。新型コロナの影響で中止となった秋まつりの気分を感じてもらおうと（特非）カシオペア連邦地域づくりサポーターズが企画。会場では歴代秋まつりのポスター展示や過去の祭りのDVD上映が行われ、来場者は「ポスターも映像もすごく懐かしかったです」と過去に思いを馳せていました。

↓講師の動きを真似して覚えます

地元の郷土芸能に触れる
郷土芸能体験教室

放課後子ども教室を利用した郷土芸能体験教室が10月８日から12月10日までの期間、晴山小学校（八幡美奈子校長、児童70人）の１～３年生を対象に実施されています。民俗芸能団体の後継者育成促進などを目的に県が企画。児童は地元に伝わる山内神楽を学ぼうと、講師を務めた保存会の工藤敬一（けいいち）さんと下谷地忠一（ちゅういち）さんの動きを見よう見まねで真似していました。

秋の叙勲　瑞宝双光章（ずいほうそうこうしょう）

山舘　松五郎（まつごろう）さん（71歳、下新町）

消防団長としての功績が高く評価され受章

元軽米町消防団長の山舘松五郎さんが、秋の叙勲で瑞宝双光章を受章しました。

山舘さんは昭和48年12月に町消防団に入団し、以後45年という長きにわたって団員として活動。平成元年に第1分団長、16年に消防団副団長に就任し、平成22年からは9年間、消防団長を務め、郷土防災のために尽力されました。

受章報告のため11月18日、山本賢一町長の元を訪れた山舘さんは「今回の受章は団員や町民の皆さんのご支援のおかげで、皆さんと一緒にいただいたような気持ちです。今後も微力ながら消防団のために貢献していきたい」と話しました。

山舘さんは町の統計調査員や防犯隊長などとしても活動し、町づくりに貢献されてきました。長い団員生活を引退した今は「パークゴルフが日々の生きがい」と笑みを浮かべました。

↓カーリングに熱中する子どもたち

氷上のチェスに挑戦
カーリング教室

カーリング教室が11月13日に県立県北青少年の家スケートリンクで行われ、小軽米小学校（小田島誠一校長、児童60人）の４～６年生25人が参加しました。カーリングは氷上のチェスと呼ばれ、運動能力に関係なく、対話をしながら行えるチームスポーツです。

子どもたちは、県立県北青少年の家の指導員からカーリングのルールやブラシの使い方、ストーンの投げ方を教えてもらい、ミニゲームなどを楽しみました。細谷地瑠華さん（５年）は「カーリングをするのは２回目。前より距離が長くなって難しかったけどストーンを投げるところが楽しかったです」と話しました。

↓真柴商会の菅谷さんからドローンを受け取る山本町長（左）

ドローンの普及を願って
ドローンの寄贈

真柴商会(株)代表取締役の菅谷忠寿さんが11月19日に役場を訪れ、町に対しドローン１機を寄贈しました。金ヶ崎町でドローンスクールを運営する真柴商会(株)は、ドローンの普及や利活用を願い、県内33市町村に超小型高性能ドローンを寄贈しています。山本賢一町長は「寄贈に感謝し、さまざまな場面で有効に活用させていただく」と話しました。

↓楽しく体を動かしました

ダンスで心も体も元気に
踊育―東北ダンスプロジェクト―

2012年から被災地復興支援として開催されている「踊育―東北ダンスプロジェクト―」が11月16日、軽米小学校で実施されました。日本ストリートダンススタジオ教室の坂本美南さんを講師に「運動神経が良くなるダンス」で体を動かした子どもたち。小笠原柊さん（４年）は「難しかったけど、今日のダンスで運動神経が良くなりそうです」と笑顔でした。

↓寿名誉博士として表彰された福田さん

１年の学びの締めくくり
高齢者教室・寿大学

寿大学の第７回講座と閉講式が11月20日に農村環境改善センターで開かれました。講座では１年間の活動をビデオで振り返り、閉講式では皆勤賞などの表彰が行われました。通算15回修了し、寿名誉博士として表彰された福田智さん（高清水）は「紙芝居の読み聞かせが新鮮で良かった。参加できるのは健康の証。来年以降も積極的に受講したい」と話しました。

↓浴衣を着て可憐に踊りました

最後の発表会
軽米幼稚園発表会

本年度で閉園となる軽米幼稚園（小林昌治園長、園児10人）の最後となる発表会が11月27日に同園で開かれました。はじめに小林園長が「この日のためにたくさん練習を重ねてきた園児たちの姿をどうぞご覧ください」と来場者にあいさつ。園児たちは、男の子と女の子に分かれてのお遊戯や「ももたろう」などの劇を披露し、来場者を楽しませました。

↓取り組みを紹介する山田さん

助け合いのある地域を目指して
地域づくりフォーラム

地域づくりフォーラムが11月15日に農村環境改善センターで開催され、町民約30人が助け合いのある地域づくりについて学びました。（公財）さわやか福祉財団の鶴山芳子さんがコロナ禍でできる地域の助け合い活動を紹介したほか、「助け合いの町を創り隊」の山田保徳さんと「高家 輪母の会」の舘下浩子さんが地域の取り組みを紹介し、情報共有を図りました。

↓ルールを覚えて、試合を楽しみました

パラリンピック種目を体験
ボッチャ体験教室

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を記念した「ボッチャ教室」が11月19日、小軽米小学校で開かれました。県障がい者スポーツ協会の職員がパラリンピック競技のボッチャのルールなどを説明し、子どもたちは試合をしながら楽しみました。関口晴香さん（５年）は「実際にやってみると難しかったけど、試合はとても楽しかったです」と話しました。

かるまいいね！特別版

写真投稿コーナー「かるまいいね！」にご投稿のあった写真で、紙面の都合上、これまで掲載できなかった写真を紹介します。

「しあわせの虹」　さーたん（上新町）

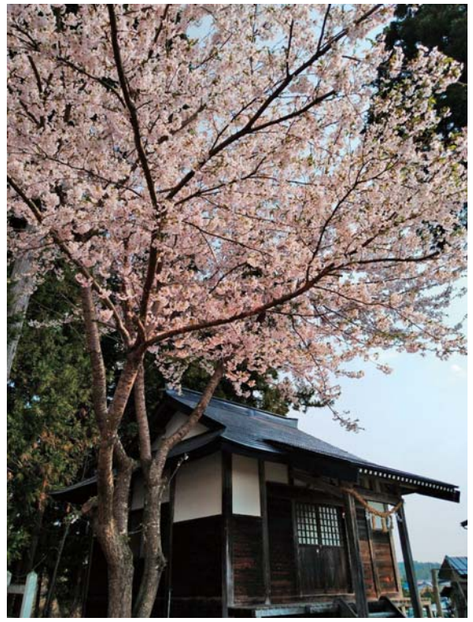
バドミントンの最中に突然現れた虹。うすくなったり濃くなったり二重になったり…かなり長い時間楽しませてくれました。（自宅前、2020/5/10）

「真夏のバッタ」　Ri.n（米田）

バッタがリアルに写っているのがお気に入り！
（車内、2020/8/15）

「ある日の朝」　春。（上舘）

朝日で真っ赤に染まったのはほんの数十秒でした。
（車門、2019/10/9）



「春」　ふっく

（町内、2020/5/14）

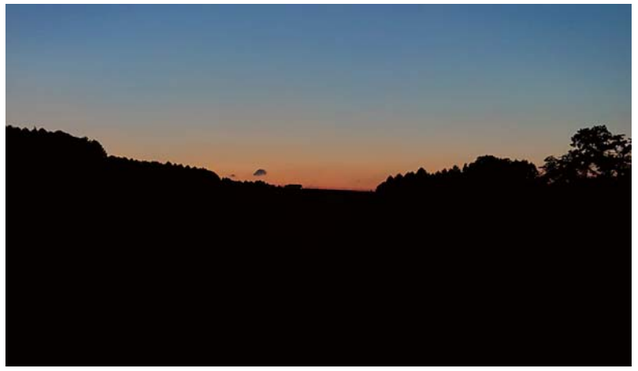
たくさんのご投稿、ありがとうございます。

「秋の訪れ」　ハナコ（仲軽米）

黄色い銀杏と青空が映えていました。
（長倉、2020/10/24）

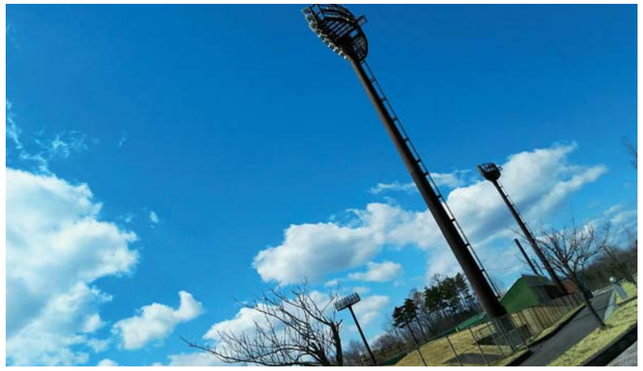
「夕暮れ時」　庭（新井田）

オキナグサに夕日が当たって輝いてました。
（自宅、2020年6月）



「君成田から観る夕焼けハイウェイ」
かみちゃん（君成田）

夕焼けを観ながら散歩しています。いつになくとても絵になる夕焼けでした。季節の変わり目に色々な景色を楽しむことができるこの場所をみなさんにもぜひご紹介したかったです。
（君成田、2020/8/19）



「ハートフルスポーツランドの青空」
坂上香都子（中村）

昨日ウオーキング中に暖かく、春を感じ空を見上げるとすごく青くキレイでした。
（2020/4/14）

Dreams come trues

夢・希望・えんぴつ

子どもたちの夢を紹介して応援するコーナー

黒瀬　ひなた さん (軽米小５年)

イラストレーターになって、たくさんの人に喜ばれる絵をかきたい

私の将来の夢は、イラストレーターになることです。理由は、自分の絵を色々な人に見てもらいたいからです。そして、自分の絵をもっと極めたいからです。

イラストレーターとは、お客さんから依頼を受けてその絵をかく仕事のことです。

私がイラストレーターになったら、アイコンの絵やラインスタンプの絵などをかいてみたいです。そして、たくさんの人に喜んでもらいたいです。

イラストレーターになるためには大変なことがあるかもしれないけど、あきらめずにがんばりたいです。

News from library

図書館だより

児童生徒のおすすめ本と今月の新刊を紹介します

図書館利用案内　▶貸出冊数：１人10冊まで
▶貸出期間：２週間以内

■お気に入りの一冊

大村　実莱（みらい）さん（軽米中学校２年）

青ノ果テ
―花巻農芸高校地学部の夏―
著/伊与原新（新朝文庫）

この本は宮沢賢治の作品「銀河鉄道の夜」を基に進んでいく本で、壮多たちが突然姿を消した七夏を探しながら「カムパネルラのなくならない世界」とともに、自分たちの「答え」を見つけるために旅に出るという話です。七夏はなぜ姿を消したのか。その答えの鍵を握るのは誰なのか。謎が深まる中で、探す答え「自分の答え」を見つける。自分にとって何が本当の答えなのか。色んなことを考えさせられる素敵な作品です。

児童書

サンタさん

作/長尾玲子（福音館書店）

春のおわりにひつじの毛を刈ったサンタさん。ふわふわの毛から長い毛糸をつくり、何かを編んでいるみたいです。繊細な刺繍で描いた絵本。

一般書

スター

著/朝井リョウ（朝日新聞出版）

新人の登竜門となる映画祭でグランプリを受賞した尚吾と紘。2人の名監督への弟子入りとYouTubeでの発信という真逆の選択の先にあるものとは―

テーマ図書展　クリスマス★クリスマス

子どもから大人まで待ち遠しいイベント、クリスマス。今月は、おうちクリスマスを盛り上げてくれる料理や装飾の本、ワクワクするクリスマスの絵本などを揃えました！

Healthy child

すこやかさん

町の元気な子どもたちの笑顔をお届け!!

田中 蒼大（そうと） くん　小学２年
惠斗（あやと） くん　小学１年
歩來（りく） くん　２歳10カ月

戦いごっこが大好きで、すごく元気な兄弟です。

人に対して優しく、思いやりを持つ子に育ってね！
ママより

Karumai photo studio

かるまいいね！

皆さんから寄せられた投稿写真を紹介します

秋の訪れ

撮影者　ハナコ
撮影場所　長倉
撮影日　2020/10/24

黄色い銀杏と青空が映えていました。

広報担当から一言
青と黄色のコントラストが鮮やかですね。
雲も入れたら写真がきれいに３層に分かれているのが凄い!!

皆さんからの応募をお待ちしております

■すこやかさん
・対象者　概ね７歳以下の子ども
・必要事項
件名「すこやかさん応募」、氏名（親・子）、住所、電話番号、写真（撮影を依頼する場合はその旨記載）、お子さんの紹介文

■かるまいいね！
・対象写真
町内で撮影した、軽米出身の人が撮影したなど軽米に関連する写真なら何でもオッケー。
・必要事項
件名「かるまいいね！応募」、氏名、ペンネーム（必要な場合のみ）、写真、写真のタイトル、撮影日、撮影場所、写真の紹介文

■応募先　kouhou@town.karumai.iwate.jp

町文化協会　北光吟社　10月例句会

身に入むや若くして逝く人のこと　千葉　ふみ子
秋の夕痛みともなう老ひの坂　東　登希枝
赤いバラ潔く剪る天高し　大清水　雪子
折爪に秋星の海天馬翔ぶ　長島　龍泉
赤ゆらぐ火星観察牧の秋　丹下　美恵子
遠き日の旅の宿なる十三夜　松村　英子
初霜の頃より大根太り初む　三上　千栄女
道すがら摘みし四つ葉を押し花に　千葉　紅園
親が先子雉が続き庭通る　中野　とき子
句の友の米寿めでたし菊香る　川﨑　郁子
秋高し獲物目掛けて急降下　君成田　美代子
秋の夜の峡癒されし花火かな　高橋　美智子

| Pension | みんなの国民年金 |

付加保険料制度について

付加保険料制度は、国民年金の一般保険料に加え付加保険料（月々 400円）を納めることで、老齢基礎年金に付加年金（200円×納付月数）が上乗せされ、受給する年金額を増やすことができます。

■納めることができる方

・国民年金第１号被保険者

・65歳以上の方を除く任意加入被保険者

■問い合わせ

二戸年金事務所 ☎23-4111

町民生活課・町民生活担当 ☎46-4734

| Health | 健康メモ |

成年後見（せいねんこうけん）制度について

成年後見制度とは、認知症や障がいなどにより、ものごとを自分で考えて決めることが難しい方の権利や財産を守るために援助者を選び、法律面からご本人を支援する制度です。

町は、生活保護を受給している方など、ご本人の財産などの状況から申立費用や成年後見人などへの報酬を負担することが困難な場合に、これらの費用を助成しています。制度利用が必要にも関わらず、身寄りがないなどの理由で申立を行うことが困難な方には、軽米町長が申立をする場合もあります。

制度について知りたい方や困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

◎成年後見制度に関する相談窓口

カシオペア権利擁護支援センター ☎43-3042

◎助成について

健康福祉課・福祉担当 ☎46-4736

| Support | i -サポ |

i -サポで出会いを見つけよう

結婚サポートセンター「i ーサポ」は、県と市町村などが協力して会員登録制による１対１の出会いの場を提供。理想にあったパートナー探しをサポートしています。専任のスタッフがマッチングの情報提供、お見合いのセッティングなど交際につながるまでをしっかりフォローします。

現在、町は入会登録料（１万円で２年間有効）を補助しています。

■問い合わせ　健康福祉課・福祉担当 ☎46-4736

休日当番医

日	内科	電話
12/27	齋藤産婦人科医院（二）	☎23-2505
12/30	カシオペア医院（二）	☎23-3331
12/31	ふくもりたこどもクリニック(一)	☎43-3137
1/ 1	二戸クリニック（二）	☎25-5770
1/ 2	すがわら消化器内科（二）	☎23-2879
1/ 3	金田一診療所(二)	☎27-2205
1/10	むらかみ医院いたみのクリニック(軽)	☎48-1500
1/11	ほそかわ小児科クリニック(二)	☎26-8100

日	歯科	電話
12/27	沢藤歯科医院(二)	☎25-4002
12/30	右門歯科クリニック(二)	☎38-2288
12/31	国香歯科医院(二戸市裏小路)	☎23-2223
1/ 2	ほんだ歯科クリニック(二)	☎23-9591
1/ 3	菅歯科(二)	☎23-5161
1/10	ぽっぽ歯科クリニック(一)	☎31-1182
1/11	菅原歯科クリニック(二)	☎23-1180

| Hospital | 軽米病院だより |

コロナへの対応

岩手県内でも新型コロナウイルス感染者が増えており、クラスターもいくつか発生しています。高齢者はコロナによる死亡率が高いことから、高齢者が利用する施設での集団感染は大きな問題です。

当院では、入院患者への面会は同居家族のみ可能でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、11月20日から全面禁止としました。重篤な患者さんの場合は個別に対応します。

また、安全管理の面からも、夜間に正面玄関を施錠することとしました。用事がある場合には、ボタンを押して守衛さんを呼ぶことになります。

コロナに関する検査については、検体を採取するプレハブや検査室の機器を準備中であり、体制が整うまでは他の医療機関にお願いすることになります。

検査に関する相談は、当院にかかっている方であれば当院で相談に応じますが、そうでない場合は、かかりつけ医か受診・相談センターに問い合わせてください。直接受診せずにあらかじめ電話での相談が必要です。（軽米病院　院長　横島孝雄）

広告スペース

玉姫グループ
葬儀・法要専門会館
セレモニーホール
玉泉院
0120-494-109
その人生に感謝を。
葬儀・法要お気軽にご相談ください　館内見学、事前見積り相談承っております。
二戸玉泉院 TEL.0195-29-1600
久慈玉泉院 TEL.0194-53-0061
軽米玉泉院 TEL.0195-46-4109
福岡玉泉院 TEL.0195-23-4440
九戸玉泉院 TEL.0195-43-3409

広告スペース

戸籍の窓口

10月１日～10月31日　※敬称略

おめでとう

坂本　祈織（いおり）	観音林東	遼・由希
及川　知花（ともか）	上増子内	直斗・あずさ

おしあわせに

脇山　春陽	桜山	
菅原　聖梨花	花巻市	
倉口　賢汰	下新町	
上村　星玲奈	下新町	

おくやみ

小川　ワカ	(100)	和当地
清水　チヨ	(90)	蓮台野
古舘　テル子	(94)	高清水
尾田川　由治	(83)	戸草内
高坂　ミン子	(91)	河北
川向　嘉志藏	(95)	駒板
松山　福松	(71)	松ノ脇

人の動き

10月31日時点　（ ）内は先月比

人口	8,806人（－21）
男性	4,321人（－7）
女性	4,485人（－14）
世帯数	3,770世帯（－13）
転入	７人　転出　20人
出生	２人　死亡　10人

火災・救急

10月末、（ ）内は今年の累計

火災	０件（３件）
救急	33件（312件）

交通事故

10月末、（ ）内は今年の累計

人身事故	０件（４件）
死亡者	０人（０人）
物損事故	14件（92件）

Information

町からのお知らせ

令和３年度の新入園児を募集

来年度に入園をお考えの方は、受付期間内に役場か希望の保育施設に申し込みください。なお、令和３年４月から幼児教育・保育を一体的に提供する施設として、軽米保育園が認定こども園としてスタートする予定です。

■受付期間　12月21日（月）～１月22日（金）

■軽米・小軽米・晴山保育園

・入園対象　小学校就学前の乳幼児

・保育料　町の規定により徴収

※一定の要件により、軽減制度を受けることができます。

※別途教材費、保護者会費などの集金があります。

■笹渡保育園

・入園対象　平成27年４月２日から平成30年４月１日までに生まれた子ども

・保育料　無料

※別途給食費、教材費、保護者会費などの集金があります。

■問い合わせ・申込先

軽米保育園　☎46-2905　小軽米保育園　☎45-2680

晴山保育園　☎47-2020　笹渡保育園　☎45-2784

健康福祉課・福祉担当　☎46-4736

School Life

軽高だより

ものづくり人材育成事業

10月21日、１年生47人が、地域の企業や産業を理解し、具体的に職業観を養うため、二戸市内の県立二戸高等技術専門校と株式会社二戸サントップを見学してきました。また、10月20日には、来年度のコース選択に向けた保護者説明会を実施しました。

本校では、２年生から就職と進学の希望に分かれてのクラスになります。現在は、12月の三者面談での最終決定に向けて、担任と個別面談を重ね、不安なことや分からないことを解消しながら、将来に向けた準備を進めています。

↑(株)二戸サントップでの見学の様子

Friendship

音更町だより

家族に心配をかけたくないので

↑運転免許証自主返納申請の様子

運転免許証自主返納の出張窓口が共栄コミセンに臨時開設されました。帯広警察署と役場が連携した窓口開設は同警察署管内初。この日訪れた土門登美子さんは「お嫁さんが心配するので自主返納を決意しました」と話していました。なお、夜間の危険を防ぐため、申請者へ夜間反射材が配布されました。

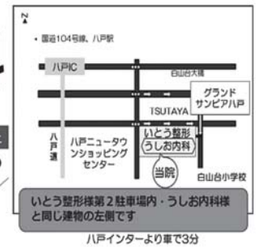
北海道音更町（おとふけちょう）

十勝平野のほぼ中央に位置し、人口約44,000人。自然豊かでじゃがいもや玉ねぎなどが特産。当町とは、昭和60年10月31日から姉妹提携し、小学生の宿泊研修やイベントなどで相互交流を行っている。

広告スペース

手造り
仕出し
味彩（あじさい）
テイクアウト予約承ります
純和鶏（唐揚げ・焼き鳥）
折詰・弁当・オードブルにお気軽にお電話ください。
軽米町大字軽米11-127-4　☎46－3680

広告募集
問い合わせ　kouhou@town.karumai.iwate.jp
１号広告（本枠）
○白黒　4,000円
○カラー　6,000円
２号広告（横幅が本枠の倍）
○白黒　8,000円
○カラー　12,000円

日帰り白内障手術・小児眼科
白山台くに眼科
院長　日本眼科学会認定専門医　濱端久仁子
診療時間　月 火 水 木 金 土
9:00~12:30　● ●　／　／　● ●
14:00~17:30　● ●　／　手術　● ／
休診日:毎週水曜・第4土曜日
TEL:0178-51-9251


宮沢歯科医院
健康は『健口』から
≪診療科目≫
一般歯科
口腔外科

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●
14:00～18:00	●	●	●	休	●	●

※予約制・当日予約可　休診日　日曜・祝日　第１，３土曜日
宮沢歯科医院　軽米町　検索
九戸郡軽米町軽米8-105
☎0195-46-2953
広告スペース

広報かるまい Karumai 12
vol.741
令和2年12月9日発行
発行 | 軽米町　編集 | 総務課
〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米10-85
TEL | 0195-46-2111　FAX | 0195-46-2335
ホームページ | http://www.town.karumai.iwate.jp/

Pick Up

話題のイベントや人物に注目

圃田 悠翔さん
HARUTO HATAKEDA

岩手県若年者技能競技会で銅賞

ものづくりへの情熱を胸に大工の道目指す

岩手県若年者技能競技会（県職業能力開発協会主催）が10月20日に岩手産業文化センターアピオで開かれ、二戸高等技術専門校2年の圃田悠翔（はると）さん（19歳・荒町）が木造建築科の部門で銅賞に輝きました。同競技会は、県内の認定職業訓練施設などで学ぶ若者を対象に毎年実施されていて、今年は125人が参加しました。

11月6日、同校で行われた表彰状伝達式に出席した圃田さんは「練習をたくさん行っていたけど、本番では少し上手くいかないところがあって悔しさも残る。それでも昨年入賞できず今年こそはという気持ちで取り組んできたので、銅賞をいただけて良かった」と胸をなで下ろしていました。

現在、就職活動中の圃田さん。「夢は大工。ただの大工ではなく、ぜひあの人に頼みたいと思ってくれるようなこだわりのある大工になりたい」と夢は膨んでいます。

編集後記

▶今回の特集では、本当に多くの方に取材や写真撮影などさまざまなご協力をいただきました。ありがとうございました。子育ては一人で抱え込むよりもみんなでやる方がより良いものになるということをお伝えしましたが、広報紙も私一人ではなく、皆さんのおかげで出来ているのだと改めて思いました。

▶次の発行は年が明けてからになります。朝夕の冷え込みが続きますが、体調に気を付け、皆さんよいお年をお迎えください。（清）

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC www.fsc.org FSC® C007678
広報かるまいは、環境に配慮した用紙を使用しています。